

6月図書館だより

登野城小学校
図書館
平成29.6.6

今月の目標

平和に関する本を読もう

ハーリーが終われば、夏がすぐそこまできています。まぶしい太陽に負けないように、読書で心をピッカピカにみがいてみませんか？

～いのちと平和を考えながら～

図書館では、沖縄戦や平和に関する本を展示しています。命の尊さ、平和の大切さをさらに深めていきましょう！

「未来に伝える沖縄戦①～④」 琉球新報社／編

「おとなはなぜ戦争するの」

「悲劇の少女 アンネ」 シュナーベル／作

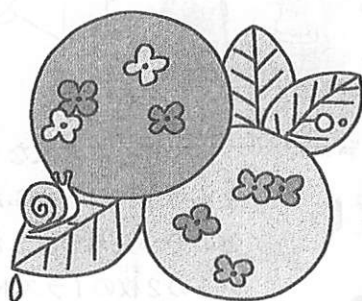
「なぜ世界には 戦争があるんだろう。どうして人は あらそうの？」 ミリアム・ルヴォー・ダロンヌ／文

「さがしています」 アーサー・ビナード／作

「せかいで いちばん つよい国」 デビッド・マッキー／作

「ベエが戦争に行った日」 野々下留美／作

わたしのせいじゃない
せきにんについて



トッピーこの本よんで ぼくとわたしの100さつ

1年生から6年生のみなさんに、それぞれ読んでほしい本を今年も100冊えらびました。1年間に、何冊読めるか、じっくり、あせらずにとりくんでくださいね！

おとうさん、ありがとう！

6月18日は「父の日」です。おとうさんが登場する本を紹介します。

「おとうさん・パパ・おとうちゃん」

みやにしたつや／作

「パパはステキな男のおばさん」 石井睦美／作

「ばばのしごとはわるものです」 板橋雅弘／作

「おとうさんの えほん」 高畠純／作

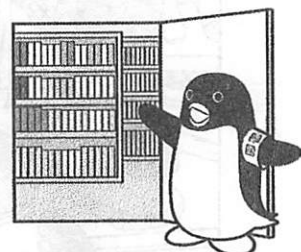
「すきすきちゅー！」 イアン・ホワイブラウ／作

「おとうさんが おとうさんに なった日」

長野ヒデ子／作

としょかん？ それとも としょしつ？

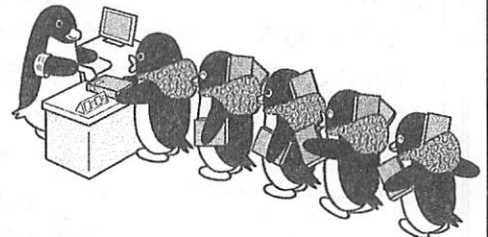
みなさんは、学校図書館を何と呼んでいますか？「図書館」ですか？それとも「図書室」ですか？どちらが正しい呼び方か、迷ったことはありませんか。こたえは、「学校図書館」です。「図書室」というのは、部屋のことをいう言葉で、「学校図書館」というのが正しい言い方です。なぜなら「学校図書館」というのは、法律でもその言葉を使っているように、単に部屋のことをいうのではなく、いくら小さくても図書館としての目的や働きを持った独立した「機関」だからです。「図書室」という言葉は「学校図書館」のそうした性格をあいまいにしてしまう恐れがあるので、使わないようにしたいものです。（「学校図書館ってすごいな」より抜粋）



あたらしい本のしょうかい



図書館からのおねがい
本の落書きが、とても目立ちます。みんな
の本です。大切に 부탁드립니다。



お話 まちがい探し こびとのくつや

夜のうちに立派なくつができあがるのを不思議に思ったふたりは、工房をそとのぞき見るのでした。

下の2枚のイラストには5つのまちがいがあります。いくつ見つけれられるかな？

